

ZEPHYROS

ゼフュロス No.27

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



エドゥアール・マネ《ブラン氏の肖像》1879年
油彩/カンヴァス 192x104.2cm
松方幸次郎氏御遺族より寄贈

Fun with Collection 2006

いろいろメガネ Part 2 - みんなの見かた紹介します

2006年2月～8月

ある所にブラン氏というしんしがいました。

ブラン氏は毎日毎日きまった時間にきまった散歩コースを歩いて最後にお気に入りの店に行ってみんなにはパンを買い自分には秘密にドーナツを買って食べるのが習慣でした。

でも、ブラン氏のちょびひげにドーナツのチョコやイチゴのクリームがついていたのでみんな、ブラン氏が散歩から帰ってくるいつもブラン氏のちょびひげばかり気にしていました。

ブラン氏は子供には「ちょびひげぶらし氏」と呼ばれていたが、大人には「歩く時計」と呼ばれていました。

なぜ、大人は「歩く時計」と呼ぶかというときも話したとおり毎日きまった時間に1分のくるいもなく散歩コースを歩いてくるのでそういうあだなができました。

なぜ子供に「ちょびひげぶらし氏」と呼ばれているかというとき、単にちょびひげがぶらしのようだったからこういうおもしろいあだなができました。

人それぞれの作品の見かた、楽しみかたをテーマに「いろいろメガネ」と題して2年間にわたるFun with Collection(ファン・ウィズ・コレクション)



選んだ作品の絵を描いて、オリジナルの賞状が完成です。
「集まれ!こども審査員-お気に入りに賞をつけよう!」(05年実施)から

の企画を2005年にスタートしました。前記の文章は「いろいろメガネ Part1-あなたの見かた教えてください」で募集した「あなたがつづるこの1点」の応募作品です。昨年6月、学校の課外授業で当館を訪れた加藤朔君(当時11才)は、常設展示室にあるマネの描いた《ブラン氏の肖像》(表紙)を見て気づいたこと、感じたことから「ブラン氏」の物語を想像してくれました。加藤君のメガネを借りる前と後では、この絵の見えかたは変わりましたか。

企画の2年目となる今年は、「いろいろメガネPart 2 - みんなの見かた紹介します」と題し、昨年プログラムで集まった皆さんの声を公開します。「あなたがつづるこの1点」で皆さんからご応募いただいた433点の作品は、冊子にして展示室にある休憩用の椅子の傍らに置き、皆さんにも読んでいただけるようにしました。その中から審査員の内館牧子さん、みうらじゅんさん、青柳正規館長が選んだ30点はパネルにして、それぞれの作品の横に掲示してあります。また、7月からは昨年の他のプログラムで制作したビデオ、俳句、写真集、自分だけのオリジナルの作品賞なども、常設展示室の一室を使って公開展示します。人の「メガネ」を通して、自分とは異なる作品の見かた、感じかたを体験してみてください。引き続き、今年も新たなプログラムも行いますのでどうぞご参加ください。

(主任研究員 寺島 洋子)

2006年 夏のプログラム（※プログラムはすべて無料です。）

A 続・日曜日の美術館—私のメガネで見えます？

各界から様々な講師を迎えて、美術作品の見かた、楽しみ方をお話ししていただきます。

- 6月4日(日) 森村泰昌(美術家)
「時を駆ける美術鑑賞—『美しい』を見直そう」
- 6月18日(日) 高木康政(パティシエ/ショコラティエ)
「美術は僕の栄養源」
- 7月30日(日) 大屋美那(国立西洋美術館主任研究員)
「知りたい。ロダン彫刻のこと、ブロンズ鑄造のこと」

対 象	一般 定員145名
時 間	14:00～15:30 講堂(B2F)
申込番号 (先着順)	A-1(6月4日)、A-2(6月18日)、A-3(7月30日)

B 即興歌人—思いを言葉に！

絵や彫刻を見て感じたことを、その場で言葉にします。五・七・五・七・七のリズムにのせてあなたの気持ちを表現してみませんか？

日 時	7月29日(土) 13:00～17:30
対 象	一般 定員25名
講 師	篠 弘(現代歌人協会理事長)
申込番号 (先着順)	B

C セイビ探偵団が行く！ —美術館からの挑戦状～“わたしを探して”

セイビの謎を解き明かし、キーワードをゲット！ 探偵団の君たちを待っている“わたし”はだれ？ ドキドキ、ワクワクのオリエンテーリングにいざ出発！

日 時	8月3日(木) 13:30～16:30
対 象	小学生 定員20名
進 行	ゴウヤスノリ(ワークショップ・プランナー)
申込番号 (先着順)	C

映像と音声をあわせて収録中。この作品の見どころは…？
「国立西洋美術館いいとこ撮り—子ども撮影隊が行く！」
(’05年実施)から



只今、編集中。撮影した写真の中から、使うカットを選びます。「ファインダー越しの美術館—自分だけの写真集を作ろう」（'05年実施）から



D 上野で、パラシュートとマキオ —空から降るメッセージ

好きな絵や彫刻を見て感じたことを手紙にし、パラシュートにつけて空から飛ばそう。パラパラと降ってくる、あなたとわたしのメッセージ。お互いに交換しよう!

日 時	8月5日(土)13:30~16:30 8月6日(日)13:30~16:30
対 象	小学生以上(家族でも参加できます)定員各20名
進 行	磯崎道佳(美術家)
申込番号 (先着順)	D-1(8月5日)、D-2(8月6日)

E 美術館でおどる、心もおどる!

心をほぐして絵を見ると、いろんなものが見えてくる。今度はからだをほぐし、絵から見つけたあれこれを、からだいっぱい表現しよう。(動きやすい服装で。はだしになります。)

日 時	8月10日(木) [半日プログラム] 午前の部:10:00~12:30 午後の部:14:00~16:30
対 象	午前の部:小学校3~4年生 15名 午後の部:小学校5~6年生 15名
講 師	早川朋子(振付家)
申込番号 (先着順)	E-1(午前)、E-2(午後)

◆プログラムの申込方法〈先着順〉

往復ハガキに、申込番号(A~E)、氏名[ふりがな]、住所(返信にも)、電話番号をご記入の上、下記の宛先へお申し込みください。1枚につき1名様限り。「D 上野で、パラシュートとマキオ」のみ参加者全員。ホームページ(<http://www.nmwa.go.jp/>)からもお申し込みできます。

宛 先	〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7 国立西洋美術館 いろいろメガネ Part2 宛
-----	--

2005年新収作品

the national museum of western art, tokyo



ピーテル・ブリューゲル(子)
Pieter Bruegel the Younger[1564-1638]
鳥罠のある冬景色 Winter Landscape with Bird Trap
油彩、板 40.6x56.8cm

この作品は、ピーテル・ブリューゲルの長男で、同名の父の作品を模写したことで知られるピーテル・ブリューゲル(子)のもので、100点以上ものヴァージョンがあることが知られているこの作品は、フランドル風景画の最もよく知られた構図のひとつですが、本作品はその中でも最も優れた作品のひとつに数えられるものです。

雪景色のフランドルの農村を舞台に、凍った河で独楽回しやスケートに興ずる子供たちが画面左半分に描かれています。河の両岸に広がる農村は厚い雪に覆われていて、右側の少し小高い岸辺の大きな木の傍らに鳥罠が仕掛けられています。主題については、ブリューゲル(父)の下絵素描に基づいて制作されたフランス・ハイスの手になる《アントウェルペンのシント・ヨリス門の前でスケートをする人々》という版画に関連することが指摘されてきました。その版画には「人間の生命のあてにならないこと」という銘文が書かれており、楽しそうに見える氷上のスケート遊びも日常生活の単なる描写ではないようです。本作品においても、画面手前には氷の上に穴が見え、氷上でスケートに興ずる人々と罠の餌食となる鳥たちとは同じ運命にあることが、それとなく示唆されています。

本作品は、旧松方コレクションに由来するものです。松方がこの作品をいつ購入したのかは不明ですが、本作品は1931年の第四回松方氏蒐集欧州美術展覧会に出品されており、他方、1922年の「泰西名画展」の図録に本作品を見ることはできないので、一応、1920年代後半と推定することができるかもしれません。裏面には、1957年の日本橋白木屋での松方展に出品されたことを示すラベルが貼られています。ほぼ一世紀を経て「里帰り」したブリューゲルは、松方コレクションがロダンやモネばかりではなかったことを伝える大変貴重な作例であると言えるでしょう。

(上席主任研究員 幸福 輝)

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2006年5月～2006年10月

常設展示 (本館・新館)

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画を本館で展示しています。新館では、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画を中心に19世紀半ばから20世紀の絵画を展示しています。

■ 休館日
 ■ 土日・祝日

5 MAY

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

● **ロダンとカリエール** (企画展示室) 3月7日(火)～6月4日(日)

● **「芸術家とアトリエ」**
 (新館2F版画素描室) 3月7日(火)～6月4日(日)

● **Fun with Collection 2006** (常設展示室) いろいろメガネPart2 みんなの見かたを紹介します

6 JUNE

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

● **ロダンとカリエール** (企画展示室) 最終日6月4日(日)

● **「芸術家とアトリエ」**
 (新館2F版画素描室) 最終日6月4日(日)

● **Fun with Collection 2006** (常設展示室) いろいろメガネPart2 みんなの見かたを紹介します

7 JULY

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

● **Fun with Collection 2006** (常設展示室) いろいろメガネPart2 みんなの見かたを紹介します

8 AUGUST

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

● **Fun with Collection 2006** (常設展示室) いろいろメガネPart2 みんなの見かたを紹介します

9 SEPTEMBER

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

● **ベルギー王立美術館展**
 (企画展示室) 9月12日(火)～12月10日(日)

● **ブラングイン版画展(仮称)**
 (新館2F版画素描室) 9月12日(火)～12月10日(日)

10 OCTOBER

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

● **ベルギー王立美術館展** (企画展示室) 9月12日(火)～12月10日(日)

● **ブラングイン版画展(仮称)** (新館2F版画素描室) 9月12日(火)～12月10日(日)

※ 展示会名、会期、内容等は変更されることがあります。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間
 通常…午前9時30分～午後5時30分(ただし、秋の企画展閉会日以降の開館日から春の企画展開催日までの開館期間中=午前9時30分～午後5時)
 毎週金曜日…午前9時30分～午後8時(入館は閉館の30分前まで)
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日) 年末年始(12月28日～翌年1月1日)
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日と文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※ 誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとり、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまだまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第27号

編集・発行 国立西洋美術館/平成18年5月20日(年4回発行)
 協力(財) 西洋美術振興財団
 印刷 (株) アイネット